

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
ウーリードリーム教室

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

岡山県内に活動拠点を置き、地域に密着して活動し、日本のトップリーグ等で活躍しているスポーツチームによる指導を通して、スポーツに親しむきっかけ作りや夢を持つことの大切さ、郷土を愛する気持ちを育てることを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和5年1月28日（土） 日帰り

(2) 参加者

- ① 募集対象・人数 幼児とその家族・15家族40人程度
- ② 参加人数 13家族41人

(3) 講師等

押鐘 正幸 氏（ファジアーノ岡山 普及・グラスルーツダイレクター）
福中 善久 氏（ファジアーノ岡山 スクールコーチ）
内海 賢也 氏（ファジアーノ岡山 スクールコーチ）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 午前の遊びリンピックでは、午後のサッカー教室につながるようボールを使った競技や走る競技、ボールを蹴る競技を組み込んだ。
- ② 岡山県スポーツ協会の晴れの国トップアスリート派遣事業を活用し、ファジアーノ岡山のスクールコーチを招いてサッカー教室を実施した。
- ③ 0歳児など対象外の未就学児もいたため、活動するプレイホール内にはちびっこコーナー、授乳室やおむつ替え用として別室を準備するなどの対応を行った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

1月28日（土）	
10:00	受付
10:30	開会式
11:00	「遊びリンピック」
12:00	昼食
13:00	移動・自由時間
14:00	「サッカー教室」
15:30	遊びリンピック表彰式・閉会式

(2) 活動の状況



【遊びリンピック①】



【遊びリンピック②】



【遊びリンピック表彰式】



【サッカー教室①】



【サッカー教室②】



【サッカー教室③】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：70% やや満足：30%

(2) 参加者の声

- ① 遊びリンピックでは何度も挑戦することが大事だなと改めて感じました。参加してよかったです。
- ② 3人での参加でしたが、ボランティアの方が一緒にしてくださって子どもも嬉しそうでした。
- ③ サッカー教室はとても楽しく、1つ1つの言葉に親子でのふれあい方があり、勉強になり、心に響きました。
- ④ サッカー教室の時間をもっと取ってほしいです。

(3) 成果

サッカーが初めての家族の参加が多かったため、家族とのふれあいを大切にしたい指導をお願いし、サッカー教室の時間に身体を動かすことを楽しむ時間も取り参加者にも好評であった。

(4) 今後の課題

- ① サッカー教室の時間については、ファジアーノ岡山から幼児は普段90分程度で実施していると提案があり、90分の時間設定となった。サッカー教室の時間のうちサッカーをする時間をもう少し増やしてもらってもよかった。
- ② 今回は積雪のため屋内での実施となり、多目的グラウンドへの移動がなくなったために散策もなくなった。参加者からは外での活動もしたいとの声があったため、積雪もなく晴天であれば屋外で実施したほうがよい。

担当：企画指導専門職付係員 角田 怜那